

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.96 救急隊員研修事業			担当課	消防本部 警防課		予算費目名	款 9	項 1	目 1		
事業概要 及び目的	救急隊員、救急救命士の養成及び、技術・知識の向上の為の研修。 救急救命士、救急隊員の育成が進めば、救急救命士を全救急車に乗車させることや救急隊員有資格者をポンプ車や救助車に乗車させることができる。再教育や研修、救急救命士の処置拡大に対応するための教育の実施により、救急救命士・救急隊員の資質向上を図る。			成果指標	研修実施回数	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度		
						予算額(単位:円)	8,330,000	9,361,000	5,961,000	5,154,000		
						決算額(単位:円)	7,702,834	8,901,316	5,629,007			
						従事職員数	4	4	4			
事業の 位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 救急救命士が全救急車に乗車できれば、救命士しかできない救命処置の機会が増える、ポンプ車や救助車に救急隊員有資格者が乗車できれば、救急車よりも現場に先着した場合に迅速に心肺蘇生等の救命処置を開始できる、又、救急の知識がある為、救急隊との連携が遅延なく行える。これらは、救命効果の向上の為に、不可欠と考える。	計画値	単年度 1 4 回	従事延べ日数	125	125	125		
	節	1	安全で安心なまちづくりの推進				民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし				
	項	1	防災対策の充実					相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等				
	号	2	消防・救急体制の充実					形態は? :				

2. 進捗状況

平成 21 年 7 月 23 日記入				平成 22 年 5 月 25 日記入				平成 22 年 4 月 18 日記入						
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	救急救命士養成学校2名、千葉県消防学校救急科(入校中病院研修)2名、気管内挿管・薬剤投与追加講習2名、気管挿管病院実習4名、薬剤投与病院実習2名、救急救命士就業前病院実習2名、救急救命士再教育病院実習7名、救急隊員学術研究会6名、千葉県救急医療研究会6名、JPTEC講習6名、BLS講習12名、ACLS講習5名、医師招聘研修2回				救急救命士養成学校2名、千葉県消防学校救急科(入校中病院研修)2名、気管内挿管・薬剤投与追加講習1名、薬剤投与追加講習2名、気管挿管病院実習4名、薬剤投与病院実習1名、救急救命士就業前病院実習5名、救急救命士再教育病院実習15名、救急隊員学術研究会6名、千葉県救急医療研究会6名、JPTEC講習6名、BLS講習8名、ACLS講習8名、医師招聘研修3回				救急救命士養成学校1名、千葉県消防学校救急科(入校中病院研修)4名、気管挿管病院実習4名、救急救命士就業前病院実習2名、救急救命士再教育病院実習20名、救急隊員学術研究会6名、千葉県救急医療研究会6名、JPTEC講習6名、BLS講習8名、ACLS講習2名、医師招聘研修1回					
継続している 事項	・ ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・					
未着手事項	・ ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・					
改善案	成果指標				成果指標				成果指標					
	実績値 14		達成率 100%		実績値 14		達成率 100%		実績値 11		達成率 79%			

3. 今後の方向性

平成 21 年 7 月 24 日協議実施				平成 22 年 5 月 25 日協議実施				平成 22 年 4 月 19 日協議実施										
今後の方向性	成果の方向性	拡充	○	現状維持		縮小		休廃止		成果の方向性	拡充	○	現状維持		縮小		休廃止	
	*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。		休廃止				コストの方向性				休廃止				コストの方向性			
方向性を実現するため実施すること(改革案)	救命率向上達成には、救命士養成及び各種研修参加が必須であることから拡充を図る。				救急救命士養成所での資格取得のほか、救急救命士有資格者の新規採用を行う。				5年に一度見直される心肺蘇生法のガイドラインが2010年に行われたことで、救急救命士について重点的にBLSの受講を行う。									
前年度改革案の実施状況	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。									